

とうべつ

手にとって ^{ぐ〜っと}good 身近に

議会だより



No. 197

令和元年6月1日発行

CONTENTS

3月定例会・5月臨時会

- 4年に1度の議員改選 新体制で始動・・・・・・・・ p.2
議長、副議長、各委員会の構成決定
- 100億を超える当初予算 多岐にわたる質疑・・・ p.4
4会派による代表質問、予算審査特別委員会、各常任委員会
- 平成最後の一般質問・・・・・・・・ p.15
5人の議員が登壇



令和元年当別町議会新体制始動

令和元年 当別町議会新体制 始動

議員の顔ぶれ と抱負



② ささき つねこ (61) 1期
希望あふれる当別町
に全力を尽くします。



④ いがらし のぶこ (52) 2期
一人一人に寄り添い
小さな声を届けます。



⑥ やまざき こうじ (72) 2期
住んで良かったと思
う町を目指します。



⑧ しぶや としかず (76) 3期
徹底した情報開示・
弱者に優しい町政を。



⑩ ふるや よういち (69) 3期
美しく活力ある当別
町のために！



⑫ たかや しげる (67) 7期
闊達な意見が飛びか
う開かれた議会に。

【副議長】



⑭ おかの きよじ (73) 6期
子どもや高齢者に暖
かくやさしい風を。



① さくらい のりえ (27) 1期
変わった！と感じら
れるよう動きます。



③ にしむら よしのぶ (64) 2期
町の未来を創造する
ために挑戦します。



⑤ すずき いわお (64) 2期
町民の願い実現に向
け全力を尽くします。



⑦ あきば しんいち (66) 3期
高齢でも安心して元
気に暮らせる中心市街地。



⑨ やまだ あきら (66) 3期
町の課題解決に向け
全力で取り組みます。



⑪ いなむら かつとし (69) 5期
町政をもっと身近に！
当別の価値を育む。



⑬ しまだ ゆうじ (63) 7期
追認するだけの議会
からの脱却。

【議長】



⑮ ごとう まさひろ (64) 8期
責任ある提案型議会
づくりを目指して！

※ ○内の数字は議席番号 年齢は令和元年5月1日現在

総務文教常任委員会

委員長 古谷 陽一 副委員長 鈴木 岩夫
委員 岡野 喜代治、島田 裕司、高谷 茂、
山田 明、佐々木 常子

〈所管事項〉総務部、企画部、出納室、監査委員、
選挙管理委員会、教育委員会

産業厚生常任委員会

委員長 山崎 公司 副委員長 澁谷 俊和
委員 稲村 勝俊、秋場 信一、五十嵐 信子、
西村 良伸、櫻井 紀栄

〈所管事項〉住民環境部、福祉部、経済部、
建設水道部、農業委員会

議会運営委員会

委員長 山田 明 副委員長 五十嵐 信子
委員 高谷 茂、古谷 陽一、山崎 公司、
鈴木 岩夫、西村 良伸

議会広報特別委員会

委員長 秋場 信一 副委員長 鈴木 岩夫
委員 西村 良伸、佐々木 常子、櫻井 紀栄
〈所管事項〉議会広報の編集

当別町公共施設に関する あり方検討特別委員会

委員長 高谷 茂 副委員長 稲村 勝俊
委員 古谷 陽一、山田 明、澁谷 俊和、
山崎 公司、五十嵐 信子

〈所管事項〉公共施設の今後のあり方

一部事務組合派遣議員

〈石狩北部地区消防事務組合議員〉
岡野 喜代治、西村 良伸
〈石狩教育研修センター組合議員〉 佐々木 常子
〈石狩西部広域水道企業団議員〉
秋場 信一、山崎 公司
〈札幌広域圏組合議員〉 後藤 正洋



議長選挙・副議長選挙

令和元年第1回当別町議会臨時会で、
議長選挙・副議長選挙が行われ、議長に
後藤正洋氏、副議長に岡野喜代治氏が選
出されました。



後藤正洋議長



岡野喜代治副議長

〈議長選挙結果〉 後藤正洋氏 8票
島田裕司氏 5票 白票 2票
〈副議長選挙結果〉 岡野喜代治氏 14票
島田裕司氏 1票

※選挙は、立候補制ではありません。



監査委員に稲村勝俊氏を選任



議員から選任していた
高谷茂氏が4月末日で任
期満了となり、稲村勝俊
氏が選任されました。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

令和元年第1回臨時会

日程：令和元年5月10日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果
掲載ページ

傍聴人数 6人 議会中継視聴回数 66回 (5/22 現在)

【専決処分】	結果	掲載ページ
平成30年度当別町一般会計補正予算(第8号) 地方交付税等の確定等により6,734万円を増額し、総額を 105億9,274万円とした専決処分の承認を求めるもの	◎	—
当別町税条例等の一部改正 地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、本条例を一 部改正した専決処分の承認を求めるもの	◎	—
当別町都市計画条例の一部改正 地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、本条例を一 部改正した専決処分の承認を求めるもの	◎	—
当別町介護保険条例の一部改正 介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する 政令の一部を改正する政令等の公布に伴い、本条例の一部改正 した専決処分の承認を求めるもの	◎	—
和解及び損害賠償額の決定について(2件) 町道での車両損傷事故について、損害賠償額を定め和解した専 決処分の承認を求めるもの	◎	—
【人事案件】		
監査委員の選任について 高谷茂氏の任期満了に伴い、稲村勝俊氏を選任するため議会の 同意を求めるもの	○	p.3
【令和元年度補正予算】		
令和元年度当別町一般会計補正予算(第1号) 3,293万円を増額し、総額を103億7,313万円とするもの	◎	—
【契約】		
ロータリー除雪車購入契約について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条 例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	◎	—

平成31年度当初予算

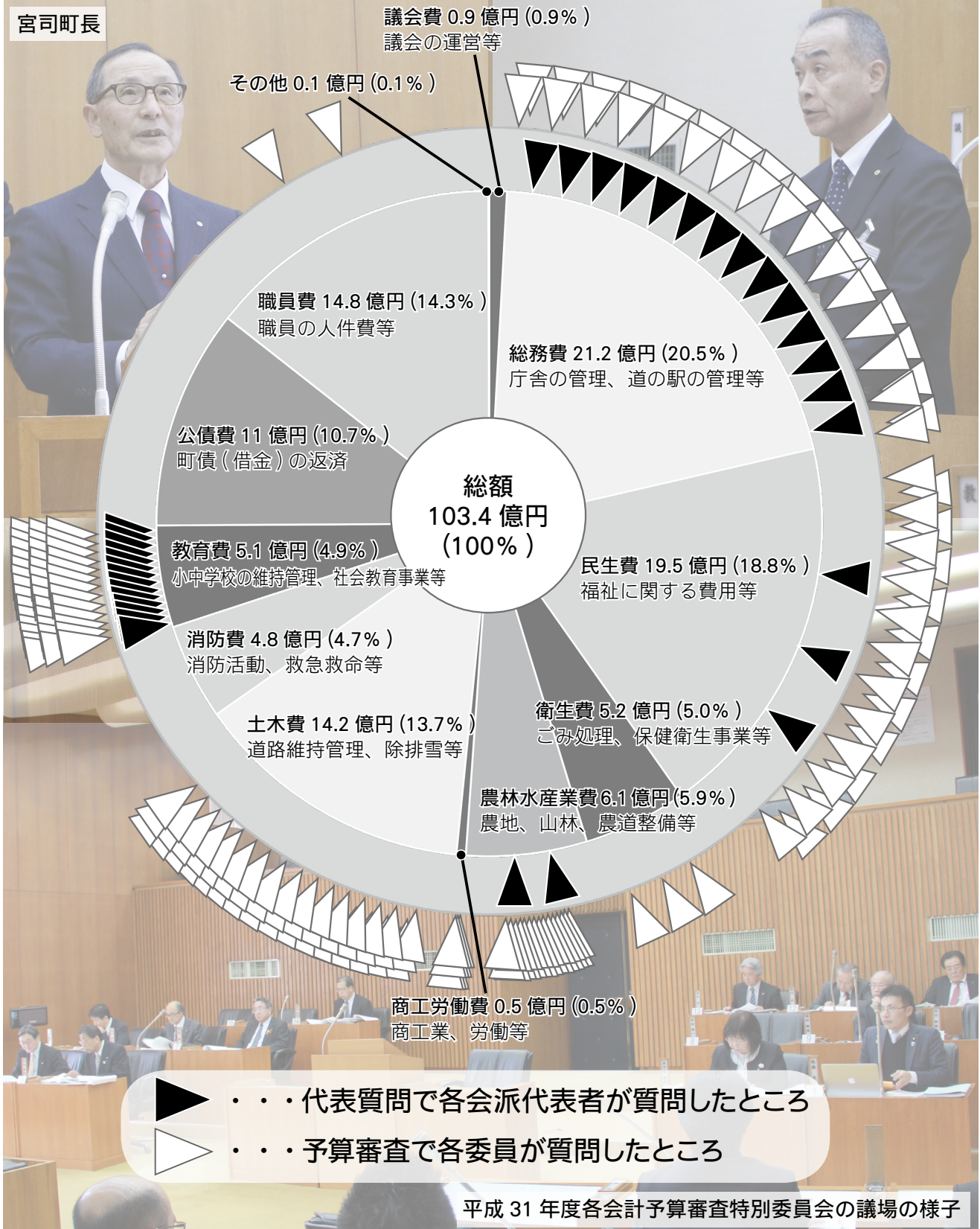
私たちは、ここに注目しています！

一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

本庄教育長

宮司町長



平成 31 年度各会計予算審査特別委員会の議場の様子

代表質問

会派清風 稲村 勝俊 議員

「ここからは

代表質問 会派代表者が町政・教育行政執行方針に対し質問をしました。

質問の
ねらい

政策を共有認識とするために

「災害に強いまちづくりプロジェクト」について、昨年の地震、台風等の教訓から地域防災計画の見直しのポイント、災害対策本部等となる老朽化した本庁舎等公共施設の更新について2点質問した。また、「産

業力の強化」について基幹産業である農業の現状認識を踏まえた施策の展開について質問し、「エネルギー地域分散都市の形成」について木質バイオマスエネルギー活用の具体的な対策について質問した。

ここを
聞きたい

防災計画の見直しポイント

問

昨年は想定外の異常気象で農作物の不良やビニールハウス等が損壊。胆振東部地震では大規模停電等の様々な被害。教訓として今後に生かすことが大切。地域防災計画の見直しポイントは。

答

災害に遭い、分かったことが幾つもあり、この経験を踏まえ、より現況に即した改正を図っていく。中でも、住民への情報伝達が十分ではなかったため、重層的な構築が重要と考えている。



昭和45年に建設された当別町役場庁舎

ここを
聞きたい

役場庁舎の建替え

問

役場庁舎の建替えは、財源確保等の情報を町民に提供し、合意形成の醸成が大切である。役場庁舎は、公共施設の中でも特に更新が必要と考えるが、建替えに対する考え方は。

答

町民の命を守る防災拠点となる役場庁舎建替えは、待ったなしの状況で、第一義的と考える。町民が集える複合的な施設をイメージし、町民の合意形成も含め取り組んでいく。

ここを
聞きたい

農業10年ビジョン

問

高齢化により耕作者が減少し、地域農業の維持が難しくなる。持続可能な農業のための農業10年ビジョンの推進は。

中、2017年度末は86億円とほぼ計画どおりだが、農畜産物の年度別の比較では全てが順調とは言えない。より一層強化するため、農業関係団体のトップ協議を定期的に行い、課題解決に向けて進めていく。

答

2024年までの農業出荷額を100億円と掲げ

ここを
聞きたい

農地所有適格法人

問

農地所有適格法人は地域農業の核となり得る。10年ビジョンにおける就農対策は。

業改良普及センターが主体的に関わり設立に向けて取り組んでいる。総合商社も加わる全国的にも例を見ない取り組みであり、就農課題における解決モデルとして成功させることが肝要かんようと考えている。

答

現在、弁華別地区では、複数戸法人の設立準備中であり、町や農協、農

ここを
聞きたい

再生可能エネルギーの推進

問

一体型義務教育学校や役場等の公共施設更新時に、再生可能エネルギーの導入をどのような思いで進めていくのか。

答

我が町の最有力資源はやはり森林であるので、木質バイオマスを主軸としたエネルギー政策を今後とも推進していく。

【その他の主な質問項目】

台風・地震による町税への影響、総合戦略最終年度の予算規模・予算編成方針 など



代表質問

会派新風 山田 明 議員

質問の
ねらい

次期総合計画策定には若い世代を

①第6次総合計画の策定は、いつまで？また、議会への説明は？構成メンバー及び構成内容は？②移住・定住の促進を札幌圏の子育て世帯に焦点を絞っては？③札沼線代替バスの今後の具体的な取組みは？④今年

度の学校運営協議会の具体的な活動は？⑤当別高校の現状と課題は？道教委との協議、検討は？⑥今年度の読書活動推進のための具体的な取組みは？⑦幼保小間の接続プログラム作成の具体的な取組みは？

ここを聞きたい 若い世代をメンバーに

問 第6次総合計画の審議会には、**将来を担っていく若い世代**、例えば、青年会議所やJA青年部、子育て世代である認定こども園や小学校のPTAの方々を多く入れるべきではないか。

答 総合計画審議会の構成メンバーには、議員のご提案のとおり、**将来を担う世代が策定にかかわっていくことは重要**であると考えている。

ここを聞きたい 子育て世代の移住促進

問 子どもの人口を増やすため、子育て世代を呼び込むために、町長が常々口にしてきている当別町のポテンシャルを活かして道内や近隣、特に札幌市からの移住促進を進めるべきではないか。

答 執行方針でも言ったとおり、これまでよりも更に精度を高めた人口減少の要因分析を始めているので、その結果を踏まえ、**札幌市の子育て世帯に向けた移住促進の取組みに注力**していく。

ここを聞きたい 札沼線代替バス運行ルート

問 中小屋・金沢両地区から**国道275号線の旧道**を運行ルートにしてほしいと要望がある。そのためには、**国道275号線に右折レーン**が必要となるが、今後の具体的な取組みは。

答 右折レーン構築は、用地買収などを考えると**1、2年で整備**できるものではないので、2020年春の運行開始時には間に合わないが、**道路管理者の北海道開発局に道路改良の要望**を続けていく。



国道275号線（現在は右折レーンがない）

ここを聞きたい 当別高校の今後のあり方

問 当別高校のあり方の検討には、**町立化も検討対象**になると想定されるが、具体的には、**何をいつまでに検討**するのか。

答 入試倍率は、普通科、家政科、園芸デザイン科

ともに定員割れとなっており、いずれ募集停止の恐れがある。そうならないよう、**中学生や保護者から選ばれる高校**になる必要がある。平成31年度は**高校側と具体的な方策の検討、協議**を始めていきたいと考えている。

ここを聞きたい 読書活動の現在の課題は

問 当別町の**読書活動を推進**する上での課題は。

答 子どもたちの家庭での**通信機器の使用**やテレビ

の視聴時間が長く、読書や学習に取組む時間が短い。**児童生徒の生活習慣の改善**が大きな課題と捉えている。

【その他の主な質問項目】
学校運営協議会の具体的な活動、幼保小間の接続プログラム作成の具体的な取組み など

代表質問 会派公明 石川 和榮 議員

質問の
ねらい

町の経済に林業振興は喫緊の課題

町に豊富にある再生可能エネルギーの中でも木質バイオエネルギーは有力な資源である。林業及び地域再生の視点からみて急がれるバイオマス利用は発電に加えて熱利用が必要である。森林は町に多く存在し、

輸送コストも大幅に抑えることができる。バイオマス熱利用は使えば使うほど地域が潤うと言われている。「木質バイオマスエネルギー」の具体的な活用と事業について伺う。



ここを
聞きたい

木質バイオマスエネルギー

問 バイオマス熱利用は使えば使うほど地域が潤う。木質バイオマスエネルギーの具体的な活用は。

答 公共施設への木質バイオマスボイラーの導入を進めてきている。町内で

木質チップを製造し、町外から購入している化石燃料を町内の木質資源に置きかえることにより、エネルギーの地域循環体制が構築でき、町内雇用が生まれるなど、経済効果につながると確信している。



昨年視察した知内町のチップ製造工場



森林被害の状況把握のためドローンにより撮影
(平成30年9月発生 台風21号)

ここを
聞きたい

林業でのドローン活用

問 ドローンを活用した資源量把握の省力化など、ICTによる林業再生の取り組みが活発化してきている。今後の町の考えは。

答 昨年発生した台風による森林被害の状況把握

は、町が所有するドローンで調査した。新年度からは当別町を実証フィールドとして北海道立総合研究機構と森林資源の有効活用にドローンやICT技術を使った共同研究を行っていくなど林業の再生に努めていく。

ここを
聞きたい

児童虐待防止ゼロへの対策

問 児童虐待の事件が全国で発生し、テレビのニュースや特集でさまざまな悲惨で痛々しい児童虐待の事案が多く報道されている。児童虐待の具体的な対策は。

答 北海道策定の子どもの虐待対応マニュアルを参考に進めているが、実際には臨機応変な対応が求められるので、児童相談所と常に連携をとり、アドバイスを受けながら対応することとしている。

平成21年度改訂版

子ども虐待 対応マニュアル

～関係機関 初期対応実践 編～

北海道策定の「子ども虐待対応マニュアル～関係機関初期対応実践編～(平成21年度改訂版)」



代表質問 会派緑風会 秋場 信一 議員

質問の
ねらい

稼ぐ町の切り札は森林資源か!?

2万人を目指す当別町の人口減少という現実。新年度方針から森林資源の活用に注目した。町長就任から重点施策として再生可能エネルギーの推進を掲げてきた。特に木質バイオマス熱利用の事業化への取り組み

は、雇用・産業の創出への大きな可能性を秘めるため、今後の取組みについて伺う。また、義務教育一貫校の新設は西当別地区を含め町民との対話など幅広く意見を聞き、基本設計に入るべきと、新たな提案をした。

ここを聞きたい 木質チップの生産と量

問 2021年実施予定の木質バイオマスの熱利用事業化計画では乾燥チップ材を西当別小中学校に、2022年には一体型義務教育学校に供給することだが、チップ生産の計画や生産量の見込みは。

答 生産は、町内事業者が参入を考慮しており、事業化を進めている。計画では、需要が増えても対応できると聞いている。木質資源は、全ての公共施設で使った場合でも十分間に合う見込みである。

ここを聞きたい 木質バイオマス熱利用事業者

問 木質バイオマス熱利用事業化計画が町の最も優位性のある新たな産業として定着することを望んでいる。木質バイオマス熱利用の事業化はどのような事業者を予定しているのか。

答 熱利用に関しては、温浴施設や施設園芸の暖房、住宅の暖房、融雪など、こういった事業者を考えており、企業誘致を含め、取り組みを進めているところである。

ここを聞きたい 西当別地区の校舎建設

問 一貫校建設で、特に西当別地区の人からの疑問の声が多い。町長は西当別地区にも同様の学校を造ると議会で答弁しているが、人口が減っていく状況の中、改めて考えを聞きたい。

答 西当別地区を含めて住民の皆さんから合意をいただいているものと思っている。町は人口増を目指した施策を展開しており、西当別地区にも同様の学校を建設する時期が来ると考えている。



(上) 西当別小学校・(下) 西当別中学校

ここを聞きたい 計画を一度ストップしては

問 実施設計の予算を提出する前に計画を一度ストップし、町民の意見を丁寧に聞く必要があるのではないか。後戻りではなく、むしろ前進するための前向きなものと捉えていただきたい。

答 基本構想策定段階から住民説明会、両地区学校運営協議会、各学校、関係者に対して説明し、パブリックコメントも実施し、既に町民の合意はできているので、立ちどまることなく進めていく。

ここを聞きたい 一部分離型の新提案

問 1年生から4年生を今ある各小学校に、5年生から9年生を一体型一貫校にと一部分離型にすることで地域に小学校が残り、学校建設費用が抑えられたり、部活動も活性化するのは。

答 町の財政が厳しいとの理由で、教育方針を見直す考えは全く持っていない。あってはならないものだと考えている。

注目すべき新年度事業は!?

総務文教常任委員会(3/11)、産業厚生常任委員会(3/12)、予算審査特別委員会(3/15・18・20)を開催し、新年度予算に関する質疑が行われました。

当別町立地適正化計画策定に向け

当別町立地適正化計画の中間報告では、まちづくりの全体方針を「石狩当別駅・石狩太美駅を拠点として、都市機能が集約され、それぞれの地域特性を活かした、便利で住みやすい居住環境の維持・創出を図る」とするとの説明がありました。



JR 石狩当別駅

当初予算 計画策定委員会のメンバー

立地適正化計画策定委員会委員報酬 11万円

立地適正化計画とは、居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の誘導により都市全域を見渡した基本的な方針として位置づけられる計画です。

- 問** 想定している計画策定委員会のメンバーは。
- 答** 学識経験者、道路管理者、公共交通管理者、医療・福祉部門、農業関係者、林業、商工会、金融といった分野の方々からそれぞれ代表する方を想定している。

- 問** 想定している委員会メンバーについて、男性と女性の人数と当別町内と町外の数はいくつですか。また、なぜ公募を入れないのか。
- 答** 現在の想定では男性のみで、町内11名、町外1名である。また、公募については、協議内容が非常に専門的な知識が必要と考え、公募はしないと考えている。

当初予算 条例案 委員会での意見の聴取

当別町立地適正化計画策定委員会条例

条例案の中で、「委員長は、所掌事務を遂行する必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又はこれらのもので資料の提出を求めることができる。」とあり、それに対し質疑がありました。

- 問** 「委員以外の者」とは、役場職員を想定しているのか。又は、一般の方か。一般の方であれば、「資料の提出を求めることができる。」という表現は強すぎないか。
- 答** 役場職員に限定はしていない。まちづくりに関し広く意見を聞くために意見等の聴取に関する表現を設けており、資料を求められた方に強制をすものではない。

当初予算 総合戦略人口目標との整合性

立地適正化計画策定業務委託 1,350万円

総合戦略では、人口目標を2040年までに2万人としています。一方、立地適正化計画は、国の方針により社人研^{※1}が推計した人口(人口が減少していく推計)に基づき計画を策定することとされています。その整合性について質疑がありました。

- 問** 計画の中間報告では、総合戦略の2万人を目指すとより、人口が減っていくことを想定して計画を作っている印象を受ける。人口目標2万人を目指さないのか。
- 答** 立地適正化計画は国の方針もあり社人研の人口推計を基に策定を行うが、町で掲げる人口2万人に向け、計画策定作業の中で分析し、方向性を見出していきたい。

※ 1 社人研…国立社会保障・人口問題研究所の略。平成27年国勢調査の確定数値を基に将来人口の推計を行い、平成29年4月に公表した。

西当小・中 木質ボイラ導入へ

当初予算 既存ボイラの改修は

木質ボイラ導入工事実施設計業務委託 1,760 万円

西当別小学校・中学校の重油ボイラの老朽化に伴い、木質ボイラ※¹に更新するため、新年度は実施設計、2020年に設備導入、2021年から利用を開始するとの説明がありました。

問

西当別小・中学校を一貫校にするとなった場合ボイラだけを先に導入して無駄な設備投資にならないのか。また、既存ボイラは大規模な改修をしたことがないのか。

答

小学校のボイラは昭和57年、中学校は昭和55年に設置。耐用年数は約15年で、早急に設備更新が必要である。また、今まで大規模な改修は行われていない。

当初予算 既存ボイラとのコスト比較

木質ボイラ導入工事実施設計業務委託 1,760 万円

木質ボイラ導入の概算費用は1校1億円で、小学校・中学校で合計2億円になると説明がありました。他のエネルギーを使った場合のコスト比較について質疑がありました。

問

木質チップボイラと他のエネルギーを使った場合とのコスト比較は。

答

既存のボイラを重油ボイラと木質チップボイラに交換した場合の試算を

している。国からの補助金や現在の重油価格を考慮すると、木質チップボイラのライフサイクルコストは約6年～8年で重油ボイラを逆転すると試算している。



総合体育館の木質ペレットボイラ

当初予算 木質チップの確保は

木質ボイラ導入工事実施設計業務委託 1,760 万円

問

西当別小・中学校の木質ボイラ導入事業は、エネルギーの地産地消の推進だと説明があったが、将来にわたり木質チップを十分に供給できるのか。

答

町有林の直営林で年間約536t、河川支障木で約200tの木質チップ生産を見込んでいる。西当小中の使用量を約200tと見込んでいるので十分対応できる。

森林に親しむ取り組みを

当初予算 森林に親しむ啓発運動を

森林愛護組合交付金 18 万円

森林愛護組合の主たる活動内容は、林野火災の予防啓発等、山火事注意看板、旗等の設置で、啓発や入林者への指導等を行っています。

問

当別は多くの森林資源があり、もっと親しむ仕掛けを町がやるべき。森にたくさんの人に入ってもらい、林道の良さを知ってもらえるような取り組みを検討しては。

答

森と木に親しめるような事業を森林愛護組合と連携しながら展開し、当別の一番の資源である森林を身近に感じてもらうよう推進していきたい。



当別町森林愛護組合と当別町緑化推進委員会が共同設置している「山火事注意」の看板

※1 木質バイオマスボイラ…木材に由来する再生可能な資源（使われない木材をチップやペレットに加工）を利用するボイラ。

当別町 150 年記念事業

当初
予算

150 年記念イベント

当別町 150 年記念事業委託 400 万円

問

150 年記念事業委託はどのような内容か。

答

委託内容は、来年度 150 年を迎え、その前年に当たることから、イベントを企画してい

たいと考えている。また、記念事業のコンセプトの立案、企画内容の検討、その他に事業の企画提案に関する町民からの意見集約に関する業務も含めていきたいと考えている。



百年会館

当初
予算

150 年 町史編纂

町史編纂業務委託 300 万円

問

町民の方々からのお話を記録するような、特に、ご高齢の方々のお話を記録していくようなオーラルヒストリー※¹は、この委託の中に入っているのか。

答

町の歴史を重層的に見ることは非常に重要。どう反映するかは町史編纂委員会との協議によるが、専門家からは個人的な意味合いが強くなるかと指摘されている。

当初
予算

百年会館耐震改修

百年会館耐震改修工事 1,000 万円

問

過去に地域から建て替えの要望があり、来年 150 年を迎え、様々な事業が行われるが、来年、建て替えをしてほしいという要望が出た場合、どう対応するのか。

答

毎年、町内会と財政課が協議し、修繕を進めている。これまで、建て替えの要望は伺っていない。引き続き、町内会と協議をしながら修繕を進めていきたい。

北欧の風 道の駅とうべつ

当初
予算

道の駅バックヤード建設

道の駅附帯施設整備工事 4,068 万円

問

道の駅附帯施設整備工事の約 4,000 万円のうち、約 3,000 万円はバックヤード建設に充てると説明があった。具体的に改善される場所は。

問

バックヤードの建設は、冬期間の来場者の減少を改善することにつながるのか。

答

当初の想定より来場者が多く、バックヤードの容量が不足している。また、一日を通して働きたいという従業員が多く、休憩所が不足しているため、これらを改善する。

答

バックヤードや休憩所建設は、一部来場者増につながると思うが、来場者を増やすには、季節を問わず、いかに多くのイベントを開催するかが一番のポイントである。

当初
予算

道の駅プロモーション

道の駅プロモーション事業業務委託 600 万円

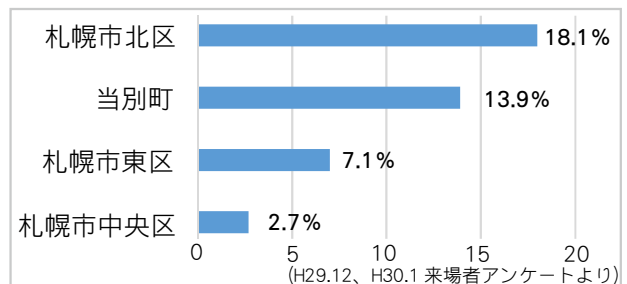
問

道の駅プロモーション事業の具体的な内容は。

答

開業記念効果も一定程度収まったので、さらなる交流人口の増加のため、札幌市の中

心部でプロモーションイベントを行いたいと考えている。これに加え、テレビを活用したプロモーションを行いたいと考えている。



道の駅地区別来場者割合 (%)

※1 オーラルヒストリー…歴史研究のために、直接、関係者から聞き取りをして、記録としてまとめること。

※2 バックヤード…店舗のうち、売り場ではないスペースのこと。小売業においては、商品置き場やパッケージングを行うスペースのこと。

道路・河川・公園・農業施設整備

当初
予算

札沼線代替バスの町道整備

町道北八号線道路改良工事 3,500 万円

問

現時点で北八号線は札沼線代替バスの予定路線であるが、どのような道路にするのか。

答

現状の道路は、5mの幅員で対面交通できない

ので、バスと車両が対面交通できる最低幅員を確保する。また、現状は一層の簡易舗装で、大型車両、バス等の通過に耐えられないので、今回二層の舗装とし、交通荷重に耐えられる構造にする。



町道北八号線道路改良工事位置図



平成 30 年 7 月大雨被害（弁華別地区）

当初
予算

パンケ河川改修工事測量

パンケチュウベシナイ川河川改修工事測量 2,000 万円

問

今回の河川改修工事測量の位置と内容は。

答

弁華別地区の区間 1,100m の調査測量、実施設計を行う。内容は、未整備区間の河川の線形が

大きく蛇行しており、昨年の融雪時に雨が降り川の水が氾濫したり、また 30 年度の大雨でも氾濫したりしているため、河川の線形を含めた護岸等の改修を行う。

当初
予算

ライラック公園（西町）遊具更新

公園施設長寿命化工事 2,880 万円

問

遊具の更新にあたっては、適切な判断のもと規模や内容を決めるべきである。具体的にどれぐらいの人が利用するかという想定はあるのか。

答

利用者数を計測していないが、地域の子どもの人数を踏まえた中で、今後、地元からの意見を聴取し、協議して、有効な遊具を設置していきたい。



阿蘇公園大型コンビネーション遊具

当初
予算

南瓜集出荷貯蔵施設整備

産地パワーアップ事業補助金 1 億 4,198 万円

問

事業の概要は、カボチャの集出荷貯蔵施設を整備するためとのことだが、具体的な数量は。

答

カボチャの選別、集出荷の倉庫で、選別のラ

インを 1 レーンから 2 レーンに、さらに集出荷貯蔵施設を 1 棟新設する事業である。現状の処理能力の数量が 1,192t で、これを最大 1,800t にする。



南瓜集出荷貯蔵施設（既存施設の改修と既存施設に向かって右側のスペースに 1 棟新設する。）

その他の質問

当初
予算

町民の優先的な受診は

初期救急受入事業負担金 30 万円

今年度より初期救急医療体制が変更になり、その中で、札幌市にある勤医協中央病院の協力を得られることになったとの説明がありました。

問 初期救急受入事業では、当別町の町民が協力病院（勤医協中央病院）に救急車、または、自分で行った場合、優先的に受診できるようになるのか。

答 当別町の町民だからと言って優先的に診てくれるわけではない。この負担金は、町民が受診した際の受診動向の実績報告書作成にかかる事務費負担である。

当初
予算

子どもの貧困対策は

就学援助費 小学校 959 万円、中学校 1,009 万円

平成 31 年度予算における就学援助^{※1}率の見込みは、小学校で 17.7%、中学校で 19.2%であるとの説明がありました。

問 就学援助の見込みは、小学校が 17.7%、中学校が 19.2%とのことだが、ここ 2、3 年増加傾向で、子どもの貧困は由々しき問題である。教育委員会はどう考えているのか。

答 そういった子に対する支援は欠かせない。就学援助費に限って言えば、まだ取り組めていない項目があるので、全ての項目を支給したいと考えている。



ふれあいバス

※1 就学援助制度…経済的な理由などにより、児童生徒を就学させることが困難な保護者に対し、学用品費・給食費・修学旅行費などの教育費の一部を援助するもの。

当別町

平成 31 年 4 月発行 保存版

平成 31 年 4 月からの救急医療体制

住民が急病の際に診療を受けることができるよう、江別市と江別医師会及び町内内科医院に加え、今年度から新たに札幌市東区にある勤医協中央病院の協力を得て、診療体制を確保しています。

今年度の初期救急医療の変更点

- ① 夜間、勤医協中央病院も利用できます。（内科のみ）
- ② 町内内科急病当番医は、12月～3月の日曜日（2020年1月5日を除く）に実施します。

初期救急医療（夜間・休日急病当番医）

- 夜間（江別市夜間急病センター・勤医協中央病院）・・・1ページ
- 昼間（江別市内科小児科休日当番）・・・2ページ
- 近くの医療機関案内・・・3ページ

救急安心センターさっぽろ

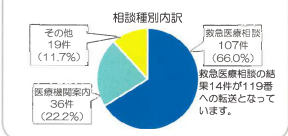
「救急車を呼ぶか難かに相談したい」「こんな症状だけで急いで病院へ行ったらどうだろうか？」など、急な病状やケガで迷ったらお電話ください。救急医療相談に24時間365日看護師が相談に対応します。

携帯電話も
使えます
ダイヤル回数・一部の電話からは
011-272-7119へ

救急医療相談
看護師がお聞きした症状から緊急度を判断。その結果に応じて最寄りの医療機関を案内するなどの助言をしたり、119番へ電話を転送します。

町内での利用実績 （平成30年4月～平成31年1月まで）

・相談総件数 162件（月平均 16.2件）



平成 31 年 4 月からの救急医療体制パンフレット

当初
予算

国民健康保険税の負担増

平成 31 年度国民健康保険特別会計

国民健康保険税は、被保険者数（保険に加入している方的人数）の大幅な減少により、新年度より増額するとの説明があり、その具体的な金額について質疑がありました。

問 国民健康保険税の負担増の大きな原因は、被保険者数の減少という説明があった。4人世帯の年間の国保税は、具体的にどれくらい上がるのか。

答 所得 250 万円、固定資産税 5 万円、介護該当者 2 名の世帯で試算をした結果、年額が 45 万 1,300 円から 47 万 8,100 円となり、2 万 6,800 円の増額となる。

当初
予算

公共交通協議会の財政運営は

地域公共交通活性化協議会負担 2,549 万円

当別町地域公共交通活性化協議会は、ふれあいバス（コミュニティバス）を運行しています。その協議会の財政運営について質疑がありました。

問 協議会の積立金が、30 年度末時点で約 1,500 万円で、31 年度の取り崩しが約 600 万円である。地域公共交通活性化協議会の財政運営は、持続可能性があるのか。

答 町民の皆さんにご利用いただき、町民全体でコミュニティバスを支えていただく。また、運行経費の節減や料金の見直し、負担金の見直しなど、協議会と連携していく。



トラクターの後ろに取り付け畑を耕すパワーハロー

当初
予算

農業機械の借上料

農業機械借上料 730 万円

問

どのような事業で、何の機械をどの程度の期間借りられるのか。

型化による新たな営農展開を支援するためリースを行う。リース期間は4年で、グレンドリル、パワーハローなどを町がリースをして農業者に貸している。事業は、平成24年から10年間である。

答

道営事業の農地整備事業で、圃場の大区画化にあわせた農業機械の大

当初
予算

上下水道料 消費税の影響額

下水道条例・水道事業給水条例の一部改正

問

条例が2本上程されており、本年10月1日から施行する。水道料金と下水道使用料は、消費税8%と10%ではどれくらいの影響額があるのか。

答

8%から10%に増額になったときの町の影響額は、水道料金については730万円程度、下水道使用料については340万円程度である。

委員会の動画も公開しています

当別町議会では、開かれた議会を目指し、本会議以外にも各常任委員会や予算審査特別委員会などの録画動画を公開しています。

議会だよりには掲載しきれないたくさんの質疑があるので、是非ご覧ください。



【その他の主な質問項目】

ふるさと納税の返礼品の金額、連携中枢都市圏構想における地域医療、孫手帳の周知、中小企業特別融資利子補給の予算根拠、各団地屋根塗装工事の効果、高校生奨学金運営協議会への負担金の増額理由 など

各会計予算案を原案どおり可決

賛成 12 名 退席 2 名

3月15日、18日の質疑に続いて3月20日に平成31年度各会計予算案が採決されました。その採

決では、賛成が12名、2名が退席し、全会一致で原案どおり可決されました。

質疑 少数意見の反映は

起草委員会が作成した報告書に対して質疑があり、起草委員会委員長が答弁しました。

問

下水道や水道料の消費税の転嫁、国保税の大幅なアップなど町民の負担が増える。少数意見ではあったが、そういう議論があったのではないのか。

答

さまざまな意見が出たということも承知しており、そのことも含めて慎重に審議をして、この度は、原案のとおり可決すべきものと決定したので、報告書をまとめた。

平成31年度各会計予算審査特別委員会



委員長 古谷 陽一 副委員長 石川 和榮
委員 議長を除く14名の議員

起草委員会

委員長 稲村 勝俊

委員 秋場 信一 五十嵐 信子 佐藤 立

一般質問

山崎 公司 議員

ここからは

一般質問 5人の議員が登壇し、15項目の質問をしました。

質問の
ねらい

人口減少対策の第6次総合計画を

第6次総合計画の策定では、スケジュールと人口減少対策と子育て支援に対する理念を中心に質問し、全国学力テスト・体力テストの調査結果では、目標とする全国平均を下回っている学力と体力の向上のため

の具体的な改善の取り組み、さらに一体型義務教育学校について、今後の児童・生徒数の推移から学級編成の当別独自基準の必要性和多目的教室・特別教室の使用頻度から室数の見直しについて見解を求めた。



ここを
聞きたい

総合計画策定スケジュール

問 第6次総合計画は町の将来を担う総合的、計画的なまちづくりを進める重要な指針になる。計画策定のスケジュールは。

新年度早々に開始し、人口減少の要因分析など

も加味し、8月頃に素案をまとめる。その後、総合計画審議会へ諮問をし、またパブリックコメントを実施した上で審議会からの答申を受け、2020年3月までに策定する。

答

ここを
聞きたい

小中学生の生活習慣改善を

問 全国学力学習状況調査（平成30年4月実施）の基本的な生活習慣の項目で、特に6項目が小中学校ともに全国平均を大きく下回っている。改善に向け、どのような取り組みをしているのか。

答 昨年8月に各学校に調査結果の詳細な分析と学校改善プランの作成を指示している。学校では、その指示に基づき改善プランを作成し、児童生徒の生活習慣改善に取り組んでいる。

ここを
聞きたい

独自基準による教員の確保

問 昨今、非常に教員が不足している中で、独自基準を設定し、教員を十分に確保することができるのか。

答 北海道教育委員会とも話しながら必要な教員数は確保していくとことでこれまでできている。心配はないと考えている。

【その他の主な質問項目】

第6次総合計画における人口減少対策、全国体力・運動能力調査結果に対する改善策 など



当別町第5次総合計画

ここを
聞きたい

一貫校 学級編成の独自基準

問 少人数、習熟度別に丁寧な指導をするために、学級編成において当別独自基準を設け、14学級を18学級にするとのことであるが、独自基準の根拠は。

答 少人数による丁寧な指導は当別町の教育を進める上での根幹となる。特に低学年は、社会性の基礎を養いつつ、きめ細かく目の行き届く指導が欠かせない。そのため、独自基準を設定している。

ここを
聞きたい

多目的教室・特別教室の数

問 総務文教常任委員会(3/6)で一部修正の報告があったが、昨年11月下旬時点で多目的教室は学年ごとに1室を配置し9室、特別教室は19室であった。使用頻度により見直しをすべきでは。

答 教室数や配置は学校と何度も意見調整を重ねてきている。それを受け、教育委員会とも十分協議した上で、現段階では多目的教室を9室から5室、特別教室を19室から11室としている。



一般質問

澁谷 俊和 議員

質問の
ねらい

役場職員の働き方改革について

近年、特に働き盛りの40代職員が相次いで退職している。

理由はそれぞれだろうが地域のためにと難しい試験や面接に合格し奉職した職員が相次いで退職することはとても残念なことである。まして

40代はベテラン職員として、それぞれの部署で事務の牽引役を期待され、一方で重責も伴いプレッシャーなどへの負担も大きく大変な時期でもあり十分配慮して職員を育てていくことを期待したい。

ここを
聞きたい

町長、副町長、教育長の期末手当

問

期末手当を町長は20%、副町長と教育長は10%削減してきたが、新年度からは削減しない。その理由は何か。

答

期末手当の削減は、町が深刻な財政難となった

平成15年度から本年度まで実施してきた。町債残高は100億もの縮減が図られ、基金も32億円まで積める見込みである。近隣市町村も通常の状態に戻していることも含め慎重に考慮した結果、そのように判断した。

ここを
聞きたい

相次ぐ40代役場職員の退職

問

最近、特に40代の役場職員が相次いで退職していると聞いている。理由もさまざまだと思うが、どのような理由か。

答

40代の職員の退職が続いていることは事実である。理由は、転職や病気など、個々人のさまざまな状況によるものである。

ここを
聞きたい

パワハラなどへの対策は

問

40代はベテラン職員で各業務の牽引役。パワハラなどはないと思うが、パワハラへの対策や職場環境の取り組みは。

答

係長クラスには指導能力研修、主幹クラスには

管理能力研修を必ず受講させ職場環境への心構えをさせている。その他に、自己申告制度、メンタルヘルス研修、ストレスチェックを通じてパワハラや職場環境の悪化の兆候を早期に把握する努力をしている。

ここを
聞きたい

他自治体の中途退職者数

問

中途退職者は、他の自治体と比較してどうか。一部、役場に対し不信感なり孤立感なりを感じている職員の声も聞いている。今後このような問題についてどのような対策をとるのか。

答

どの自治体でも中途退職者は近年大幅に増えているようである。早急に何か対策をとらなければいけないという必要性は感じていないが、明るい職場環境づくりに向け努力する。

ここを
聞きたい

町営住宅のユニットバス普及

問

東町団地で始めたユニットバス設置は大変喜ばれている。他の団地にも普及すべきではないか。

答

樺戸団地や北栄団地など他の団地への普及もこれから進めていきたいと考えている。

【その他の主な質問項目】

第6次総合計画での町営住宅の新たな方針、北栄団地・樺戸団地の水はけの対策 など



東町団地に設置したユニットバス

一般質問

鈴木 岩夫 議員



質問の
ねらい

人口減少解決は地域力で

当別町は、田園地帯で町内会組織があり、皆で「助け合う」というお金には代えられない「優位性・価値・いいところ」が残っているが、人口減少で危うくなってきている。

乗り越えようと町や町民も頑張っ

ているが、町や町民の頑張りを励ますような政治になっていない。その頑張りを励ますような政治になるよう国に対して強く求め、国がしないのであれば町として独自に頑張るべきであると提起した。

ここを
聞きたい

希望の持てる農政を

問

日米 FTA ※1 の中止、戸別所得補償の復活、農産物の価格保証など希望の持てる農政を実施してほしいと国に対してははっきり言うべきではないか。

答

当別町単独で声を上げても効果が薄いと思われるので、今までと同じように各農業関係機関と足並みをそろえ、町村会も含めて、希望の持てる農政となるよう国に対して要望していく。



当別町の農作業風景

ここを
聞きたい

入院機能が整った施設か

問

町長が執行方針で述べた在宅医療の役割を担う施設とは入院機能が整った施設であるのか。

答

まず、今後の医療体制は、医療と介護の連携強化のもとで在宅医療体制

を推進していく。入院病床の新設は医療圏域の問題から極めて難しいので、町としては入院病床を代替できる介護施設を併設した医療機関も視野に入れて、医療と介護の複合的施設についての研究を進めている。

ここを
聞きたい

療養と介護の複合施設とは

問

入院施設を代替できる介護施設ということですが、今進めていると答弁があったが、それはつまり介護療養ベッドのことか。

答

病床ということではなく、実質的に町民の皆さんがその介護施設に滞りし、病院の治療が受けられるということである。

ここを
聞きたい

交通弱者への通院費補助

問

救急医療における町外医療機関への受診の際、交通弱者への通院費補助を実施すべきでは。

答

救急ではなく通常時間帯に通院している方もいるので、公平性の観点から、容易に導入できないと考えている。

ここを
聞きたい

国保税の負担軽減を

問

国保税は、この先5年かけて全道の統一化を図る中で、毎年2%ずつアップするのではないかとされている。国保税のアップにならないよう他会計より繰り入れ対処すべきではないか。

答

町独自で負担を行うことは今現在では考えていない。それは、都道府県単位化を進めてきた理由そのものが、市町村独自の追加繰り入れに頼らない国保運営を目指しているからである。

【その他の主な質問項目】

官邸主導農政の当別町に及ぼす影響、医療体制維持・拡充に向けた町内医師会への支援 など

※1 日米 FTA…日米の自由貿易協定。貿易の活性化のため、日米間で互いに関税を削減や撤廃する協定。



一般質問

五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

負担軽減で子育て世帯の応援を！！

当別町が子育て世代に移り住みや
すいと広く認知されるためには、子
育て世帯の負担軽減や子育てしやす
い環境を最優先に整えていく必要が
ある。働くお母さんの悩みに寄り添
い病児、病後児預かりのサポートを

利用しやすくすることを求め、また、
除雪サービスの申請該当者に対しても
十分な説明の必要性や、高齢者や
家族が明るいイメージで介護相談が
できるような場となるよう名称の変
更や周知についても質問した。

ここを聞きたい ファミサポ会員の相互交流

問 全体交流会以外
にも、もっと身
近で顔の見える
交流ができ、**地域で支え
合える取り組みも必要で
はないか。**

答 援助を受けたい
会員がより利用
しやすくなるよ

うに、援助を行いたい会
員の**顔が見える関係づく
りが大切**と考え、クリス
マス会やお菓子づくりな
どの交流事業を行っている。**子育て支援センター
事業と連携し会員相互の
交流機会の拡大に努めて
いきたい**と考えている。

ここを聞きたい 病児・病後児預かり

問 ファミリーサ
ポート事業で
は、平成 24 年
より病児、病後児預かり
を開始したが、**昨年度の
利用数は 1 名であった。
非課税世帯への助成支援
や周知拡大をしていくべ
きではないか。**

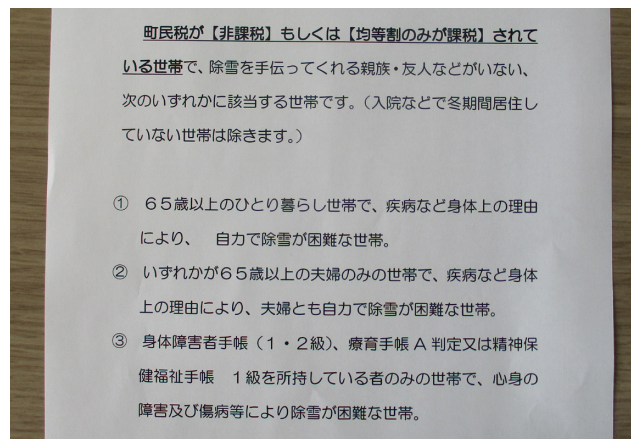
答 周知は、乳幼児
健診時やホーム
ページに加え、
**次年度は入園時や入学時
の説明会などでも周知を
図っていく。利用料金は、
非課税世帯への特別な配
慮についても検討が必要
と考えている。**

ここを聞きたい 高齢者世帯の除雪サービス

問 同居家族がいる
場合にも**特別な
事情がある方は
相談できることが分かる
ように柔軟に対応すべき
ではないか。**

答 要件は住民税が
非課税、若しく
は課税が均等割

**のみの世帯であることが
大前提で、65 歳以上の
一人暮らし世帯や 65 歳
以上の夫婦のみの世帯な
どの要件もある。今でも
特殊な事情がある世帯に
ついてはフレキシブルに
対応をしている。**



高齢者等除雪サービスの周知チラシ

ここを聞きたい 除雪サービスの周知方法

問 除雪サービスの
チラシを見ると
要件が3点書か
れており、それに当ては
まらない方は諦めて相談
にも行かない。「何かあり
ましたら、こういう対応
をしています。」と4項目
目を入れてはどうか。

答 住民税非課税、
課税が均等割の
みの世帯と**非常
に限られた方々への支援
がベース**となる。最低限
支援をしようと決められ
たルールであるので**原則
はルールにのっとった方
が対象**となる。

ここを聞きたい 地域包括支援センター

問 地域包括支援セ
ンターは、年数
が経過してい
ても認知度が低く、もっと
身近な拠点であることを
周知できるよう、見ただ
けで分かるような名称を
つけてはどうか。

答 平成 29 年度に
は年間延べ 904
名、30 年度に
は 2 月末までで 1,154
名と多くの皆様に身近な
拠点として利用されて
いる。初めて利用する方
への周知の工夫は今後も
行っていく。

一般質問

佐藤 立 議員



次のページは

常任委員会

補正予算などの説明と質疑が行われました。

質問の
ねらい

教育の真の受益者は地域そのものだ

地方自治体は、税金を原資に地域共同体の公共的な課題を解決する共同事業を行う。そこで最も重要なことは、一人ひとりの子どもが尊重され、のびのびと育ち主体的に学ぶ環境を整えること。地域共同体に愛着

を持ち、将来に夢を持ち主体的に生き抜いていける子どもたちが育つことは、地域共同体の持続可能な発展に繋がる。教育の真の受益者は地域共同体そのもの。だからこそ、最も重要なことが教育である。

ここを
聞きたい

幼保小接続プログラム

問 これから作成される幼児教育と義務教育の接続プログラムにおいて、小学校入学時点での到達すべき目標を設けるのか。

答 幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏ま

えて認定こども園や小学校と協議の上で卒園時まで身に付けておいてほしい力や態度を示す。ただ子どもの発達や成長には個人差があるので、あくまでもそういった姿に向かって子どもたちが育つように努力していく。

ここを
聞きたい

当別高校のあり方検討体制

問 当別高校の今後のあり方の検討体制で、教育委員会だけでなく財政や移住など関連する各部門を巻き込んだ検討体制を構築する必要があるのではないか。また高校の管理職経験者等を入れては、

答 協議を進める上で、役場庁舎内の関係部局だけではなく、町内外の有識者、あるいは、高校の管理職経験者等の参画についてもあわせて検討していきたい。

ここを
聞きたい

今後の協議の方向性

問 教育委員会として当別高校を今後どうしていきたいか明確な方向性を持って協議を進めていくのか。または、どういう形にしていくのかも含めて協議を始めるのか。

答 現段階で言えることは、生徒や保護者から選ばれる学校になるためにどのような支援やあり方が望ましいのかを高校とともに考えていきたい。



北海道当別高等学校

ここを
聞きたい

通学かばんの重量

問 現時点で学校及び教育委員会は、児童生徒の通学かばんの重さは問題のない範囲であると認識しているのか。

答 学校からは、子どもの姿勢について問題点の報告も今のところないので、問題ない範囲であると捉えている。

ここを
聞きたい

通学かばんの重量調査

問 かばんの重さは、子どもの健全な発達に悪影響を及ぼす恐れがある。通学かばんの重さを調査したことはあるか。

答 教育委員会は既に学校に対して、かばんの重量の軽減を図るよう指導しており、学校も適切に対応している。ただ、この問題については実態把握が必要であると考えるので、平成31年度に調査をして、実態を把握し、さらなる対策を考えていく。

ここを
聞きたい

答 教育委員会は既に学校に対して、かばんの重

【その他の主な質問項目】

「置き勉」についての変更点、通学かばん重量の基準設定 など

総務文教常任委員会(3/6)、産業厚生常任委員会(3/7)を開催し、町から平成30年度

札沼線代替バス JR 北海道からの支援

総務
文教

JR 北海道からの支援内容は

JR 札沼線北海道医療大学以北の廃止問題に関する経過の報告の中で、JR 北海道から当別町への今後の支援内容についての覚書(※右参照)を締結した旨の説明があり、それに対する質疑が行われました。

JR 北海道からの支援(覚書)

①当別町と月形町への支援

合計 7 億 8,400 万円

⇒ 20 年間分の運行費用と初期投資費用の合計

②当別町への支援

3,000 万円

⇒ 新規路線バスの運行ルートへの町道整備

問

7 億 8,400 万円(覚書①参照)の内訳は、また、バスの運行に関する当別町の負担はないのか。

答

初期投資費用は、バス購入(20 年の間にバ

スを 1 回更新する費用も含む)、待合所、停留所、車庫の整備等で、1 億 8,220 万円。20 年間の運行経費は 6 億 219 万 2,000 円である。当別町の負担は、20 年間はないものと予定している。



同等サイズのバスを導入予定



町道北八号(位置図は p.12 参照)

総務
文教

運行ルートの町道整備はどこ

問

町道整備に対する 3,000 万円(覚書②参照)は、どこの町道か。

答

平成 31 年度当初予算として、金沢の町道北八号を仮定のルートとして

定め、改修工事を計上している。今後の検討によっては、工事箇所が変更になる可能性はあるが、今現在、可能性のある部分についての予算を計上していくという考えである。

一体型義務教育学校のクラス配置

総務
文教

特別支援学級を 2 階に

問

プロポーザルの資料では、1 階は 1 年生と特別支援学級であったが、今回の報告では 1 年生のみ 1 階である。特別支援学級を 2 階にした理由は。

答

特別支援学級は、その学級の中だけで活動しているわけではなく、通常の学級に出向き、共に学ぶという活動が主に行われている。学習以外での生活面での交流も考慮し、2 階への配置とした。

総務
文教

1 年生の教室を 1 階に

問

1 年生だけボンといる印象だがその配慮は。

答

図面では、そのように感じるかもしれないが、

1 年生は外に出る活動が多く、また、災害時に一番早く外に出られることから 1 年生を 1 階に配置した。

【その他の主な質問項目】

当別町役場の中途退職者人数、一体型義務教育学校地質調査業務委託内容 など

補正予算や条例制定等の提案説明があり、それに対する質疑が行われました。

当別町デイサービスセンター利用者減

次のページは 議案審議の結果 定例会では討論と採決が行われました。

産業厚生 利用者減少の要因は

介護サービス事業特別会計補正予算では、当別町が設置するデイサービスセンター（運営は当別町社会福祉協議会へ委託）の利用者が減少し収入が減るため基金（貯金）からの繰り入れをする旨の説明があり、それに対する質疑がありました。



当別町デイサービスセンター（ゆとろ内）

問 総合事業のスタート時に、懸念されていたことはサービスの抑制である。介護サービスを抑制する傾向に働いてきていると考えるが、どのように把握しているか。

答 社会福祉協議会からは、今まで介護予防給付を利用していた方が総合事業に移行して利用が少なくなってきたという影響は見られないという話は聞いている。

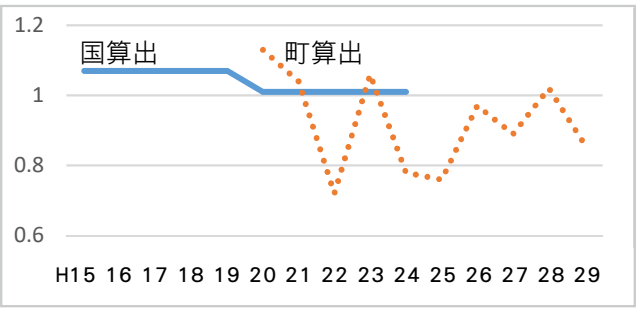
問 デイサービスの利用が減っている、若しくは、居宅の介護サービスの利用がなかなか伸びていない要因というのは、現時点で整理されているか。

答 どの事業所を選択するかは、ご本人であるので、当別町デイサービスセンターを利用してもらえるようなPRの方法を検討していかねばならないと考えている。

その他

産業厚生 合計特殊出生率

当別町の合計特殊出生率の推移について、国が5年ごとに公表する数値と当別町が試算した年別数値の報告があり、総合戦略などの施策目標設定の指標について質疑がありました。



合計特殊出生率

問 合計特殊出生率は国では5年毎の数値、町での試算数値は変動が大きく政策の目標値として用いるのは難しい。今後、出生率以外のより適切な指標の検討は。

答 合計特殊出生率は、長期的な推移をみるために重要なものと考えているが、施策の展開にあたっては、より適切な指標を検討していかねばならないと考えている。

産業厚生 合併処理浄化槽設置内訳

問 合併処理浄化槽を今年度6台設置したとのことだが、元々当別町に住んでいた方が。若しくは、転入されて来た方が。

答 6台とも当別町に元々住んでいた方である。

産業厚生 合併処理浄化槽の周知方法

問 新たに当別町へ転入されて来た方からの問い合わせはあったのか。また、町内の建設業者にこの制度の周知をしているのか。

答 転入者の方への周知は、広報とホームページで行っている。また、町内業者への周知は、4月の段階で各建設事業者にご案内している。

【その他の主な質問項目】
当別町役場の中途退職者人数、一体型義務教育学校地質調査業務委託内容 など

平成31年第1回定例会		結果	掲載ページ
日程：3月5日～3月20日			
◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数			
傍聴人数 36人 議会中継視聴回数 261回 (5/22 現在)			
【専決処分】			
平成30年度一般会計補正予算(第6号) 寄附金の増加等により6億3,022万円を増額し、総額を103億4,261万円とした専決処分の承認を求めるもの	◎	—	
北海道市町村総合事務組合規約の制定及び廃止の協議 北海道市町村総合事務組合規約の制定及び廃止の協議について専決処分をしたのでその承認を求めるもの	◎	—	
【平成30年度補正予算】			
平成30年度一般会計補正予算(第7号) 1億8,279万円を増額し、総額を105億2,541万円とするもの	◎	p.21	
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 6,255万円を増額し、総額を21億5,156万円とするもの	◎	—	
平成30年度介護保険特別会計補正予算(第3号) 393万円を増額し、総額を15億7,404万円とするもの	◎	—	
平成30年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号) 19万円を減額し、総額を6,819万円とするもの	◎	p.21	
平成30年度下水道事業特別会計補正予算(第3号) 5,785万円を減額し、総額を8億3,556万円とするもの	◎	—	
平成30年度水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収入を9万円増額し、総額を6億9,111万円等とするもの	◎	—	
【条例制定】			
当別町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正 学校教育法の一部改正に伴う本条例の一部改正	◎	—	
当別町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正 土地改良法の一部改正に伴う本条例の一部改正	◎	—	
当別町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正 学校教育法の一部を改正する法律等の施行に伴う本条例の一部改正	◎	—	
当別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う本条例の一部改正	◎	—	
【請願・陳情】			
《平成31年第1回定例会(3月)総務文教常任委員会へ付託》 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書 [提出者]新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 [紹介議員]当別町議会 議員 鈴木 岩夫	不採択	—	
《平成31年第1回定例会(3月)産業厚生常任委員会へ付託》 町独自で国保税の1万円引き下げと国保の抜本的改革を国に求める請願書 [提出者]公益社団法人北海道勤労者医療協会 当別社員支部 支部長 今野 一三六 他4団体 [紹介議員]当別町議会 議員 鈴木 岩夫	不採択	—	
《平成31年第1回定例会(3月)産業厚生常任委員会へ付託》 日米貿易協定交渉の中止を求める陳情書 [提出者]当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体	不採択	—	
《平成29年第5回定例会(12月)公共施設特別委員会へ付託》 地方創成 都市再開発事業による「コンパクトシティまづくり」 [提出者]荒田 譲	趣旨採択	—	

討論

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



消費税増税は中止すべき

当別町の地域と経済に多大な影響を及ぼす消費税増税は中止すべき。

不採択すべき 山崎議員



社会保障費の財源となる

現役世代の減少と高齢化により社会保障費が増大。消費税引き上げはその財源となる。

採択すべき 澁谷議員



金持ち優遇の税制

所得税の最高税率は、消費税導入時は75%、現在は45%。金持ち優遇の税制である。

不採択すべき 五十嵐議員



軽減税率で配慮

社会保障の安定財源確保のため軽減税率で所得の少ない方に配慮しつつも上げざるを得ない。

採択すべき 島田議員



10月からの導入に危惧する

今年10月の消費税10%導入は、今の日本経済の状況からいって、非常に危惧する。

【賛否が分かれた採決の公表】

佐藤	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	石川	岡野	市川	高谷	島田
×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

討論

町独自で国保税の1万円引き下げと国保の抜本的改革を国に求める請願書

採択すべき 鈴木議員



公費1兆円の投入を

2016年に全国知事会は国保基盤強化と負担の公平のため、公費1兆円の投入を求めている。

不採択すべき 高谷議員



税の公平性から考えて妥当か

町民の3/4の人の血税を使って、国保税1万円引き下げは、税の公平性から考えて妥当か。

【賛否が分かれた採決の公表】

佐藤	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	石川	岡野	市川	高谷	島田
○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

討論 日米貿易協定交渉の中止を求める陳情書

採択すべき 鈴木議員



農業に多大な影響を及ぼす
当別の基幹産業である農業に多大な影響を及ぼすのは火を見るより明らかだ。

不採択すべき 佐藤議員



国際交渉に背を向けない
国際交渉に背を向けることなく交渉に向かい、国民の幸せを守る姿勢を忘れてはならない。

【賛否が分かれた採決の公表】

佐藤	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	石川	岡野	市川	高谷	島田
○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

トピックス

《予算審査特別委員会報告に対する質疑》
国保税負担増の少数意見反映は

Q 少数意見ではあったが、なぜ町民負担を強いる国保税の増大分に対する意見が出ていないのか。

A 慎重に審議をして、どのように報告するかということも十分協議した結果、原案のとおり可決すべきものと決定したという結果になった。

【賛否が分かれた採決の公表】

佐藤	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	石川	岡野	市川	高谷	島田
○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「-」は退席。

【平成 31 年度当初予算関係】 ※下記の 17 議案は平成 31 年度各会計予算審査特別委員会へ付託		
平成 31 年度一般会計予算 総額を 103 億 4,021 万円とするもの		p.9 ～ p.14
当別町立地適正化計画策定委員会条例制定 本委員会を設置するための条例制定		p.9
当別町空家等の適正管理に関する条例の一部改正 当別町空家等対策協議会を設置するための条例の一部改正	※各会計予算審査特別委員会で審査し、本会議で委員会から報告	-
当別町森づくり基金条例制定 森づくりの推進を目的として基金を設置するための条例制定		-
当別町社会体育施設等に係る指定管理者の指定 本施設等の指定管理者（ふれスポ with AMB）の指定をするもの		-
札幌広域圏組合規約の変更の協議 本組合規約の変更の協議をするもの		-
札幌広域圏組合の解散及び解散に伴う財産処分に関する協議 本組合の解散及び解散に伴う財産処分の協議をするもの		-
札幌市及び当別町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議 連携中枢都市圏の形成に係る連携協約を締結することについての協議をするもの		-
平成 31 年度国民健康保険特別会計予算 総額を 20 億 6,989 万円とするもの		p.13
当別町国民健康保険税条例の一部改正 保険税率の改定に伴う本条例の一部改正		p.13
平成 31 年度後期高齢者医療特別会計予算 総額を 2 億 3,553 万円とするもの		-
平成 31 年度介護保険特別会計予算 総額を 15 億 6,548 万円とするもの		-
平成 31 年度介護サービス事業特別会計予算 総額を 6,861 万円とするもの		-
平成 31 年度下水道事業特別会計予算 総額を 9 億 9 万円とするもの		p.14
当別町下水道条例の一部改正 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律等の施行に伴う本条例の一部改正		p.14
平成 31 年度水道事業会計予算 収益的収入総額を 6 億 5,817 万円等とするもの		p.14
当別町水道事業給水条例の一部改正 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律等の施行に伴う本条例の一部改正		p.14
平成 31 年度各会計予算審査特別委員会報告 付託された全ての案件を「原案のとおり可決すべきものと決定した。」と報告	◎	p.14

議員表彰 稲村議員 議員在職 15 年表彰

3/5 伝達式（議場）

稲村議員は、長きにわたる地方自治の発展に寄与された功績が認められ、全国長村議会議長会より表彰されました。



後藤議長（右）から伝達を受ける稲村議員（左）

議員表彰 後藤議長・高谷議員 記念表彰

3/5 伝達式（議場）

後藤議長と高谷議員は、北海道町村議会議長会役員を務めるなど同会発展に寄与された功績が認められ同会創立 70 周年記念表彰を受けられました。



後藤議長（右）から伝達を受ける高谷議員（左）

議会のうごき（平成31年2月～令和元年5月）

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 2月15日 議会広報特別委員会 | 3月15日 予算審査特別委員会 議会広報特別委員会 |
| 2月18日 産業厚生常任委員会町内所管事務調査 | 3月18日 予算審査特別委員会 産業厚生常任委員会 |
| 2月19日 会派代表者会議 | 公共施設に関するあり方検討特別委員会 |
| 2月21日 議会広報特別委員会 | 3月20日 議会運営委員会 議員協議会 |
| 2月26日 議会運営委員会 | 予算審査特別委員会 第1回定例会 |
| 3月5日 議会運営委員会 議員協議会 | 議員協議会 議会広報特別委員会 |
| 第1回定例会 | |
| 3月6日 総務文教常任委員会 | 4月24日 議会広報特別委員会 |
| 3月7日 産業厚生常任委員会 | 5月9日 議員懇談会 |
| 3月8日 第1回定例会 | 5月10日 会派代表者会議 議員懇談会 |
| 公共施設に関するあり方検討特別委員会 | 第1回臨時会 議会運営委員会 |
| 議会広報特別委員会 | 議員協議会 議会広報特別委員会 |
| 3月11日 総務文教常任委員会 | 5月17日 議会広報特別委員会 |
| 3月12日 産業厚生常任委員会 | 5月22日 議会広報特別委員会 |
| 3月13日 第1回定例会 | 5月24日 会派代表者会議 |
| 3月14日 第1回定例会 総務文教常任委員会 | 5月31日 議会運営委員会 |

議会を傍聴してみませんか

令和元年6月定例会のご案内

- 6月12日(水)13時 議場 本会議(報告等)
 6月13日(木)13時 議場 総務文教常任委員会
 6月14日(金)13時 議場 産業厚生常任委員会
 6月17日(月)10時 議場 本会議(一般質問)
 6月18日(火)10時 議場 本会議(一般質問)
 6月19日(水)10時 議場 本会議(議案審議)
 ※日程が変更になる場合もありますので、ホームページをご確認下さい。

どこからでも議会が見られる

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



ご意見ご感想をお寄せください

議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町58番地9
 TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474
 E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長	秋場	信一
副委員長	鈴木	岩夫
委員	西村	良伸
委員	佐々木	常子
委員	櫻井	紀栄

編集後記

この度の改選で3名の新メンバーが入れ替わり、引き続き議会だよりの編集が始まりました。これまでの2年間、誌面作りにかけた委員会時間は約79時間に及び、リニューアルの難しさを実感しました。令和の最初の発行からも新委員会が力を結集して更なる改善と工夫をこらして議会をより分かり易く、町民(読者)の方々へお伝えしていければと考えています。今後も定例議会ごと(年4回)に発行予定ですので、2年間よろしくお願いたします。議会広報特別委員会委員一同



議会広報特別委員会